

## 大紀町新庁舎整備基本設計業務委託プロポーザル方式 審査結果

### 1 特定結果

特定者 : 株式会社大建設 名古屋事務所

### 2 審査経過

#### (1) 概要

大紀町本庁舎は昭和 38 年に建築され、現在本庁舎自体は 62 年を経過しています。本庁舎については経年劣化が著しく、これまで必要な修繕を重ねながら維持管理に努めてきましたが、特に当地域は南海トラフ大地震の発生が予測される地域でもあり、大規模地震発生の際には来庁者や職員の安全確保が懸念されています。

さらに、大紀町では町村合併により本庁舎では増改築に伴い各課が分散された配置となり、また錦庁舎に防災安全課と水産課、大内山庁舎に教育委員会が配置されていることにより、行政事務や町民サービス面での利便性及び執務の効率性が著しく低下しています。

このような状況から、令和 7 年 9 月に滝原地区の瀧原宮付近の用地を新庁舎の建設予定地と決定し、移転・新築を目指すこととなりました。移転整備を進めるに当たり、質の高い建築設計を行うために高い技術力、創造性、経験などを有する設計者を選定できる公募型プロポーザル方式を実施しました。

#### (2) 第一次審査

提案者（4 者）から提出のありました技術提案書（一次審査用）について、技術者の業務実績等に対する採点（絶対評価）や業務の実施体制及び建築計画の基本方針に対する技術提案による採点（技術力評価）を行い、技術提案書（二次審査用）の提出者（4 者）を選定しました。

採点項目	配点	A社	B社	C社	D社
		評価点	評価点	評価点	評価点
絶対評価	70.0	56.0	66.0	58.0	59.0
技術力評価	30.0	18.6	25.2	18.0	16.8
合計	100.0	74.6	91.2	76.0	75.8
選定結果		選定	選定	選定	選定

#### (3) 第二次審査（技術提案書の特定）

選定全 4 者から提出された技術提案書（二次審査用）とそれに基づくヒアリングについて審査を行いました。

まず技術提案書では、①建築計画「災害発生時には活動拠点となる庁舎として耐震性・安全性に優れるとともに、機能的で業務効率に配慮し、行政サービスの DX 化を踏まえたコンパクトかつ、

ハード・ソフトの一体的な庁舎整備及びその整備等に係る財政的支援を考慮した提案について、②敷地利用計画「近隣施設（瀧原宮）の景観等計画地の周辺環境に配慮しつつ、来庁者や職員等がわかりやすく使いやすい駐車場等の敷地利用計画について」、③環境配慮「省エネルギー・省資源を考え、環境負荷の低減に配慮し、経済的かつ効率的な庁舎整備及び長寿命化を見据えた効率的な改修計画の提案について」の3つの特定テーマのそれぞれにおける「提案の的確性」、「提案の独創性」、「提案の実現性」について各選定委員による採点（技術力評価）を行いました。

ヒアリングでは技術提案書に関する説明及び質疑回答における「専門性及び取組意欲」「質問に対する応答性」について各選定委員による採点（技術力評価）を行いました。

技術提案書（二次審査用）、ヒアリングそれぞれの各選定委員採点の算術平均値と、見積価格評価の合算値を第二次審査の技術評価点としました。

第一次審査と第二次審査の評価点の合計が最も高かったB社（株式会社大建設計 名古屋事務所）の技術提案書（二次審査用）を特定し、同者を特定者としました。

採点項目	配点	A社	B社	C社	D社	
		評価点	評価点	評価点	評価点	
第一次審査	100.0	74.6	91.2	76.0	75.8	
第二次審査	技術提案書	150.0	98.0	111.4	92.0	99.4
	特定テーマ (1)	70.0	46.8	53.6	41.6	46.8
	特定テーマ (2)	50.0	31.2	36.2	31.2	33.4
	特定テーマ (3)	30.0	20.0	21.6	19.2	19.2
	見積価格	5.0	3.6	0.0	2.6	5.0
	ヒアリング	45.0	26.2	37.8	29.6	35.8
	専門性及び取組意欲	25.0	15.0	21.0	16.0	19.0
	質問に対する応答性	20.0	11.2	16.8	13.6	16.8
	第二次審査 計	200.0	127.8	149.2	124.2	140.2
合計	300.0	202.4	240.4	200.2	216.0	
特定結果			特定			

### 3 講評

#### (1) 特定者【B社（株式会社大建設計 名古屋事務所）】の提案

建築計画について階数は2階とし、1階に町民窓口や交流機能を集約させ、最短動線で各機能を利用可能とした計画としています。執務室はレイアウトの変更がしやすい配置とし、職員の連携や交流を促す執務サポートエリア、職員専用階段を隣接させ、業務効率を高めるとともに各課の連携を促す計画としています。また、空間をシェアすることで庁舎棟面積を削減し、イニシャルコストの低減を図っています。構造については災害時、行政機能を維持し、防災・災害対策拠点として機能できるように、鉄骨ブレース耐震構造としています。

敷地利用計画については、勾配屋根や階高の制限など周辺環境に配慮するとともに、敷地の東から南側を町民利用、西から北側を職員利用とし、合理的な機能配置としています。庁舎正面には安全に配慮した来庁者駐車場とイベント利用や臨時駐車場として利用可能なにぎわい広場を設け、人々の憩いと交流の場となるよう計画するとともに、災害時には来庁者駐車場とにぎわい広場を防災広場とすることで、防災テントの設置や大型車両の受入れ等、災害対策を考慮した計画としています。

今回の提案条件全般について、全体的にきめ細やかな検討がなされており、実現性の高い提案でした。ヒアリングにおける説明や質問回答についても分かりやすく、的確なものでした。以上の点を総合的に評価した結果、最優秀として特定することとなりました。

## (2) 総評

今回のプロポーザルに提出された技術提案書の階数は平屋建て、2階建て、建物配置は集約型、分散型とバリエーションに富み、いずれも密度の高い優れた案でした。順位付けをすることは難しい作業でしたが、地域特性や施設計画に対する「提案の的確性」、「提案の独創性」、「提案の実現性」の高さなどを中心に技術提案書、プレゼンテーション・質疑応答の内容を評価して厳正に審査を行い、最も評価の高い設計事務所を特定しました。

最後に、短い準備期間にも関わらず、多大な労力を注ぎ意欲的な提案をしていただきました参加者の皆様の熱意と誠意ある対応に、心より感謝を申し上げます。

大紀町新庁舎整備基本設計業務委託  
プロポーザル方式事業者選定委員会  
委員長 川口 淳